

## 会議録作成支援（音声認識）システムの導入について

### 1. 導入目的

市では、日常的に多くの会議や打合せが行われており、その内容を記録するために、職員がICレコーダー等に録音した音声データを聞きながら文字起こしをしている。この会議録等作成に、多くの時間を費やしており、その労力と時間の軽減をするためにシステムを導入する。

### 2. システムの概要

会議等の音声データ（ICレコーダー等で記録したもの）を自動的に文字化する音声認識技術を活用しテキスト変換するシステム

### 3. 導入経過

- ・ 試行テスト：令和元年11月中旬から12月  
※削減時間数などから効果を確認
- ・ プロポーザル方式による公募開始：令和2年4月20日
- ・ 導入開始：令和2年6月30日

### 4. 利用環境と特色

利用環境	想定される会議等	利用場所
クラウド版 (インターネット経由)	公開する会議等	職員の個人パソコン
オンプレ版 (ネットワーク非接続)	非公開の会議等	専用パソコン

- ・ 処理に要する時間は、利用環境にもよるが、音声データの録音時間以内
- ・ システムは24時間365日利用可能
- ・ 市内全ての課が、同時に使用が可能

### 5. 導入経費

1, 320千円（令和2年6月から令和3年3月まで）

参考

導入したシステムによる音声認識認識結果

(令和元年度第1回行財政改革審議会の音声データ ※マイク使用)

システムによる認識結果	聞き取って文字起こしした文章
<p>数値として低いという自治さ、間違いないと思います。</p> <p>周辺ネットも例えば松江なんかですと、恐らく原発と等々のあれもあつたりすると思うんですけども、やはり石見地方においても例えば、浜塚松さんも、比較的この公債費比率は、ポイントが低いんじゃないかと思います。</p> <p>やはりこうした実態の中で、行財政改革なり財政も切り詰めていくということになりますと、やはり市民レベルの理解とか協力度合いだ、必要ではないかと思います。</p> <p>一般的に私ども、市民目線から見てですね。</p> <p>危機的とは言わないけれどもこの厳しい実態のある中で、市民レベルに対する市からのパフォーマンスが、どうだろうか、きちんと正確に伝わり、そして市民レベルとしても、そういうことが本当に協力しなきゃならんという共有ができてるだろうかという、意見とかですね、声も少し聞くところでもあります。</p>	<p>数値として、低いという事実は間違いないと思います。</p> <p>周辺で言っても、例えば松江なんかですと、恐らく原発等々のあれもあつたりすると思うんですけど、やはり石見地方においても、例えば浜田や益田でも比較的この公債費比率はポイントが低いんじゃないかと思います。</p> <p>やはりこうした実態の中で、行財政改革なり財政も切り詰めていくということになりますと、やはり市民レベルの理解とか協力度合いが必要ではないかと思います。</p> <p>一般的に私ども、市民目線から見てですね。</p> <p>危機的とは言わないけれどもこの厳しい実態のある中で、市民レベルに対する市からのパフォーマンスが、どうだろうか、きちんと正確に伝わり、そして市民レベルとしても、そういうことが本当に協力しなきゃならんという共有ができてるだろうかという、意見とかですね、声も少し聞くところでもあります。</p>